

## CONTENTS

## 巻頭インタビュー

## テルサホール(京都テルサ)の建築と照明

1996年にオープンし、2023年に照明設備を更新した多目的ホール、テルサホール。多種多様な用途に使用され、京都府の公共施設のなかでも高い稼働率を誇るテルサホールの建築と照明について、テルサホールサポートセンターの照明エンジニア、安田典生様にお話を伺いました。



京都テルサ  
テルサホールサポートセンター  
安田 典生 様



ステージから客席を望む 客席照明のLEDシアターシリーズダウンライト①②点灯時。壁面間接照明も含めて空間全体の照明演出が可能な多目的ホール。

### 国際会議などの大規模イベントにもワンパッケージで対応可能な多目的ホール。

—はじめに京都テルサと、そのなか位置するテルサホールについて教えてください。

**安田** テルサホールは、京都府立勤労会館大ホールの後継施設として設備計画が進められ、1996年4月に竣工した京都テルサ内に設置されました。京都テルサそのものは、地上5階・地下2階建て、延床面積35,796m<sup>2</sup>の建物で、大小15室にわたる会議室や、セミナー室、視聴覚研究室、スポーツ施設などさまざまな施設があり、その西館の1～2階にテルサホールが位置しています。設計上、天井高を2階分の高さに抑える必要があったため、最初に見たときは「照明屋」として少し驚いた部分もあります。劇場としてはもっと高さがほしいところですが、逆に、劇場に特化されていない部分を利点としてとらえることで、より多くの用途に対応できる真の意味

での多目的ホールとして活用することができます。

—具体的にどのような用途に利用されていますか？

**安田** 最大856席を備え、客席を収納することで555m<sup>2</sup>のフラットな平土間としても活用できるテルサホールは、京都テルサ内の多彩な会議室と連携して、大規模なイベントもワンパッケージで開催することができます。例えば、国際会議や学術会議、大規模研修などでは、テルサホールをメイン会場として位置づけ、分科会や個別の学会を会議室で行うなど、ひとつの建物内でイベントを完結できる点で非常に高い評価をいただいています。ホールの仕様を変えて、午前中は客席のある講演会場として利用し、夕方からは平土間に転換した状態で立食パーティ会場として使用することも可能です。また、試験会場としての利用、学校行事の演劇鑑賞、ピアノの発表会、式典や講演、フラットな大空間として

## ■ 巻頭インタビュー

### 2 テルサホール(京都テルサ)の建築と照明

京都テルサ  
テルサホールサポートセンター  
安田 典生 様

## 特集 舞台・スタジオの照明

### ■ 施設例

- 6 調布市文化会館 たづくり
- 8 RKB毎日放送 T2スタジオ

### ■ ライティングシーン施設例

- 10 東北ボーリング株式会社
- 12 東芝テリー株式会社 1号棟・5号棟
- 14 オーク設備工業株式会社 本社・全国拠点
- 16 今帰仁村(なきじんそん)新庁舎



ステージから客席を望む LEDシアターシリーズダウンライト①②と、壁面間接照明のLEDシアターシリーズ電球システムDC LED電球④が特別な劇場空間を演出。昼白色の壁面間接照明TENQOOシリーズ⑤は10%調光で撮影。



#### 客席照明比較 (平土間)

(左) LEDシアターシリーズダウンライト①②とLED一体形ダウンライト③を同時点灯。  
(右) LEDシアターシリーズダウンライト①②のみ点灯。



#### 客席ダウンライト

(上) LEDシアターシリーズダウンライト①点灯、  
(中) LED一体形ダウンライト③点灯、(下) 両点灯

行う展示会、ビッグバンドの演奏会、フリーマーケットの会場など、用途や利用形態は本当に多種多様でバラエティに富んでいます。

利用率についても、コロナ禍前の平均は87%、2015年、2016年には90%以上の稼働率を達成しており、京都府内の公共施設としてもかなり高い利用率となっています。

一のような点が、利用率の高さ、リピート利用の高さに繋がっているのでしょうか？

**安田** 専用の劇場に比べれば、できないことがあったり、転換に時間がかかったりすることもあります。しかしそこは、ホールスタッフの技量や事前のしっかりとした準備、機転を利かせた対応でカバーしています。特に、ホールの多目的性やコンパクトさを活かした活用のご提案、利用者様のご要望に応じて、客席の収納や、昇降舞台の活用、会議室との連携など、テルサホールの特性を活かしたきめ細かなご提案をすることが多くのリピート利用につながっていると

思います。

例えば、舞台の高さが70cmしかないのですが、子ども向けの人形劇などはステージと客席の一体感があるようで、たいへん好評です。複雑な演出や転換ができないこともある反面、コンパクトなテルサホールの良さを活かすことで、利用されたお客様からは多くの感謝の声をいただいています。

#### 将来的なLED化を見据えながら、持ち込みのハロゲン器具にも対応可能な環境に。

—今回の照明設備改修工事について、概要をお教えてください。

**安田** 今回の改修工事の主な目的は、天井の耐震工事でした。そのタイミングに合わせて、いい機会だということで、照明設備の更新を行いました。前述のようにテルサホールには空間的な制約があり、例えば舞台演出用の前あかりに

関しては4本の客席ライトボタンでまかなうなど、専用の劇場ホールに比べて多くの制約があります。ただ、逆にこの限られた状況のなかで慣れてしまうと、非常に光環境が創りやすく、多種多様なひとつひとつの催し物に合わせて、きめ細かな対応、丁寧なセッティングができる体制が整っていました。

そのため、既設設備の使い勝手や良い部分を踏襲したうえで、将来的なLED化を踏まえた更新としています。客席照明のダウンライトは、もともと電球色のハロゲン器具と、昼白色の水銀灯がワンセットで対になるように配置されていました。そのため、ハロゲン器具のほうはLEDシアターシリーズダウンライトに、水銀灯のほうはLED一体形ダウンライトに更新しています。また、壁面の間接照明も同様に、上部の昼白色の部分はLEDベースライトへ、下部の電球色の部分はDC LED電球に更新しています。舞台演出照明については、スポットライトをLED器具に



客席ライトバトン 天井高を2階分の高さに抑えたホール空間。昇降可能な4本のライトバトンにLEDスポットライト⑥⑦を配置しステージの前あかりを確保。



壁面間接照明 上部はTENQOOシリーズ⑤を、下部はDC LED電球④を既設器具位置に設置。



下部間接照明 LEDシアターシリーズ電球システム、DC LED電球④を設置。(左)目隠しあり(右)目隠し内部。



上部間接照明 TENQOOシリーズ⑤を採用。(左)点灯時(右)消灯時。

更新し、調光設備は新たに調光操作卓の出力データをDMXノードを介し調光制御するシステムに更新しています。

舞台の Horizont ライトはハロゲン器具のままですし、一部に調光回路を残していますので、LED器具とハロゲン器具のどちらにも対応できる、どちらの良さも引き出せる仕様になっています。テルサホールの場合、利用者様の持ち込み照明器具についてもハロゲン器具が多いので、フルLED化はせず、あえて進化の過程にある状態としています。

### 書類や文字を長時間見ても疲れにくい、多種多様な利用目的に合わせた客席照明。

一電球色と昼白色の2種類の客席照明用ダウンライトはどのように活用されていますか？

安田 試験会場や研修会、展示会場などに使用される場合、長時間書類を見たり、文字を読んだりすることが多くあります。そのため、見やすさと疲れにくさを考慮して、電球色のLEDシアターシリーズダウンライトと昼白色のLED一体形ダウンライトの2種類を同時に点灯しています。昼白色の光だけで文字を見続けるのも疲れやすいことがありますし、ホール開設当時から、紙を見る場合はミックスした光環境としています。

明るさについては、改修前は両ダウンライト併用時で443ルクス。改修後は、電球色のLEDシアターシリーズダウンライトのみ100%点灯で平均499ルクス、昼白色のLED一体形ダウンライトのみで平均597ルクス、併用時は最大1,091ルクスを確保することができます。ホールとしてはかなり明るいほうだと思います。

一壁面の間接照明はどのように活用されていますか？

安田 壁面の間接照明も開設当時からあり、式典などで華やかさを演出したい場合などに使用しています。既設設備では、昼白色の蛍光灯が強すぎてそこにばかり目が行ってしまうため、上部の間接照明はあまり使わなかったのですが、LEDになってからは調光ができるので雰囲気づくりがしやすくなりました。その下のDC LED電球の部分も含めて、例えばパーティのときには60%くらいに調光して使っています。また、人が登壇される登場シーンでは華やかに明るくして、登壇後にお話をされる際には照明を落として、壇上に意識が向くようにライティングするなど、「生の光」を見ながら空間全体の照明を使ったリアルタイムな演出を行っています。客席を暗くして、間接照明だけを残すのもいい雰

京都テルサのテルサホールは、1996年4月に竣工。それまで烏丸丸太町に位置していた京都府立勤労会館大ホールの後継施設として設計されました。劇場に特化した勤労会館大ホールに対し、客席や舞台の格納が可能な多目的ホールとして設計され、演劇、コンサート、映画、研修、面接、展示会など、多種多様な催事を高いレベルで提供できる多目的ホールとして活用されています。



【物件概要】

所在地：京都府京都市南区東九条下殿田町70  
 ホール面積：555㎡(客席収納時)  
 座席数：最大856席  
 施主：京都府  
 設計：(株)建設計  
 施工：建築/清瀬産業(株)  
 照明リニューアル：2023年2月



ステージから客席を望む (左) 昼白色の壁面間接照明TENQOOシリーズ⑤100%点灯時。  
 (右) LEDスポットライト⑥⑦および壁面間接照明のDC LED電球④を点灯。

客席ライトボタン(降下時)  
 DMXノードからの出力で制御するよう改造し、LEDスポットライト⑥⑦を配置。

囲気が創れます。

テルサホールの場合には劇場用途以外の催し物で客席照明をフル点灯するケースも多いので、ハロゲン器具のように雰囲気のある調光ができて、かつ熱も出さず、消費電力を抑えられるLEDへの更新はメリットが大きいと以前から考えていました。

将来性を見据えて既設設備の使い勝手を進化させた操作環境。

一舞台照明や操作環境については、どのような更新が行われましたか？

安田 先にも触れましたが、完全なフルLED化はせずに、電源を差すだけで簡単に使えるという環境も残して更新しています。具体的には、客席天井の4本のライトボタンについては、ワイヤーを交換したうえで、DMXノードに対応できるよう改造しながらも、既設電源のうち3回路を直電源とし、他は調光回路として残しています。ステージの前あかりとなるスポットライトは、従来のハロゲン器具からLEDスポットライトに更新しました。客席の天井が低いので、発熱という点でもよい環境になったと思います。調光操作卓や舞台袖操作器も、従来の環境を踏襲しな

から更新するかたちになっています。調光操作卓のLICSTAR-IVは、各地のいろいろな現場で舞台やバレエなどの照明を手掛けている若い照明オペレーターたちが、声を揃えて「使いやすい」と言っています。自分でも実際に使ってみたところ、実戦的で非常に使いやすいと感じています。

一本日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

(2023年5月19日 取材)



調光操作卓③



舞台袖操作器⑨



LEDスポットライト⑥

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考	
ホール	① LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安Φ200mm)	AL-LED-TDL-L	75	消費電力：91.5W	
	② LEDシアターシリーズダウンライト(開口径目安Φ200mm)	AL-LED-TDL-LS	7	消費電力：91.5W	
	③ LED一体形ダウンライト(開口径目安Φ200mm) 昼白色	LEDD-95021FN-LD9	49	消費電力：71.4W(100V)	
	④ LEDシアターシリーズ電球システム DC LED電球(一般電球形クリヤータイプ)	LDADC15LHE26C/D-AL	44	消費電力：14.7W	
	⑤ LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 直付形 W70 調光 昼白色	LEKT407253N-LD9	44	消費電力：17.1W(100V)	
	⑥ LEDスポットライト 8型平凸 (ハロゲン1~1.5kW相当)	AL-LED-ASP8-L-LA	67	消費電力：187W	
	⑦ LEDスポットライト 8型シアターフレネル (ハロゲン1~1.5kW相当)	AL-LED-FSPT8-L	66	消費電力：187W	
調光室	⑧ 調光操作卓	LICSTAR-IV TypeJ	1式	—	
舞台袖	⑨ 舞台袖操作器	特注	1式	—	
調光盤室	調光器盤	PLUG-IN DIMSTAR III	1式	—	